

お客様各位

NetIQ(株)Attachmate 事業部

Reflection for Secure IT Windows サーバ 7.2 リリースノート

この度 Reflection for Secure IT Windows サーバ 7.2 を国内リリースする運びとなりました。
以下 その内容と入手方法につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- ・ Reflection for Secure IT (RSIT) Windows サーバ 7.2

2. 変更内容

- ・ 従来 7.1 SP2 から、下記機能追加と仕様変更、ならびに不具合対策を実施致しました。

2.1 追加機能と仕様変更

- 1) ネットワークドライブを定義可能とし、リモート端末接続からアクセス出来るようになりました。
- 2) アクセス可能ディレクトリとしてネットワーク上のディレクトリを定義可能とし、sftp からアクセス出来るようになりました。
- 3) 従来[Password Cache]設定画面から、汎用的な[Credential Cache]設定画面に変更しました。
[Credential Cache]設定画面では、ドメインユーザに対するパスワードキャッシュの指定や、ネットワークドライブやネットワーク上のアクセス可能 SFTP ディレクトリに対するアクセスユーザ認証情報などを定義します。
- 4) 1 ユーザ当たりの同時接続数上限値が指定出来るようになりました。
- 5) クライアント側表示のキーボード対話型認証タイトル表示の有無が出来るようになりました。
- 6) サーバ構成ファイルの保存場所を指定出来るようになりました。
- 7) [Identity]タブ"Host Certificate"欄の有効/無効を指定可能とし、初期状態が無効になりました。
- 8) 同一タイミングで発生した接続要求に対する瞬間同時受付許容数が増えました。

2.2 対応プラットフォーム

- a) Windows Server 2008 R2 (x86-64) <新規追加>
- b) Windows Server 2008 (x86, x86-64)
- c) Windows Server 2003 (x86, x86-64)

尚 今回、下記 OS への対応が RSIT サーバとして終了致しましたのでご注意ください。

- ・ Windows 2000 Server (x86)、・ Windows Vista (x86, x86-64)、・ Windows XP (x86, x86-64)

2.3 不具合対策内容

- 1) ドメインユーザの同時接続要求時に、不要な待ちが入り認証に時間を要した問題
- 2) sftp クライアントからの "cd ../<dir>"形式の相対パス移動が失敗する問題
- 3) "SFTP accessible directories"を "/=\$drive"形式で指定時に、アクセスの都度 イベントログに警告メッセージを記録する問題

- 4) "SFTP accessible directories"を UNC 表記で指定時に、LSASS.EXE メモリリークを生ずる問題
その UNC 表記のディレクトリ先に sftp アクセス後、切断出来ないケースが生じた問題
- 5) 大容量のパスワードキャッシュを持つ バージョン 6.1 からのアップグレードにおいて、メモリリークに起因してインストールが失敗する問題
- 6) Tectia 社 SSH クライアントからの巨大ファイルのアップロードが、ある条件下で失敗する問題
- 7) 無視すべき影響のない事象を、“警告”扱いでイベントログに記録していた問題

3. 入手方法

[A] ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様 :

- ・弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし入手します。

<手順>

- 1) 弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにアクセス :
 - i) 直接 URL <<https://download.attachmate.jp/Login.aspx>> にアクセスする。あるいは、
 - ii) Attachmate 日本語ホームページ (<http://www.attachmate.jp/>) から
> [サポート] > [ダウンロードライブラリ] とブラウザする。
- 2) 「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」 ページ内において、
お手元控えの“ユーザ名”と“パスワード”を使いログイン :
- 3) 表示「保守の内容」 ページ内において、対象製品の“ダウンロード”をクリック :
- 4) 表示「Reflection for Secure IT Windows Server」 一覧において、“ファイル名”をクリック :
～ “Current Product Release” に示す一覧が今回リリースしました最新の バージョン 7.2 です。
バージョン欄で 7.2 (7.2.0.151) であることを確認し、32bit OS 用 (x86)、64bit OS 用 (x86_64)
のいずれかのファイルを選択クリックし、次ページに進みます。
- 5) 表示「ファイル情報とダウンロード」 内容を確認しダウンロード操作 :
～ 下部枠内の “輸出規制を含むソフトウェアライセンス使用許諾契約に合意します” をチェック
の上、“ダウンロード:” ファイルをクリックしダウンロードを開始します。

[B] シングルパッケージ購入のお客様 :

- ・7.1 以前のバージョンをご使用で、バージョン 7.2 へのアップグレードをご希望のお客様は、
下記メールアドレスまでご連絡下さい。有償にてバージョンアップを承ります。

j-info@attachmate.com

以上